

地域コミュニティ学科

2023年4月
設置構想中

入学定員：150名

専門教育の特徴

最初に3つの領域「社会産業領域」「健康福祉領域」「人と自然領域」の全体を概観し、その後、学生各自が最も関心を持った分野の学びを深めていきます。

1年次には、基礎論や基礎実習による体験的なフィールドワークを通して、4年間の学びに必要な基本的な知識とスキルを身につけます。2年次には専門的な知識を身につける講義を履修するとともに、実習科目を通して、より本格的な地域調査の技法を学びます。3年次には専門

性の高い講義科目で興味のある分野についての知識を深め、「地域コミュニティ学演習Ⅰ・Ⅱ」において地域の課題を分析するための実践的な能力を養います。そして、4年次には、4年間の学びの集大成として自ら地域に関する課題を設定し、必修科目である「総合研究Ⅰ・Ⅱ」に取り組みます。海外に関心のある人は「海外地域実習」、GIS(地理情報システム)のスキルを高めたい人は「GIS実習」というように、それぞれの興味関心に応じて学びを深めることも可能です。

専門教育カリキュラム表

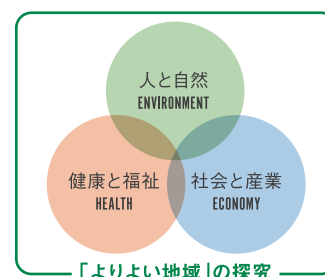
●…[必修]

専門 基盤科目		社会と産業基礎論● 健康と福祉基礎論● 人と自然基礎論●	基礎コンピュータ● 市民活動論 地域生活論	地域と自然 地理学要説 地誌学要説	SDGs概論 地域データ分析法 共同体と市民社会	地域コミュニティ学演習Ⅰ● 地域コミュニティ学演習Ⅱ● 総合研究Ⅰ●	総合研究Ⅱ●
領域専門科目	領社会科産業目業	都市と農山村の地理学 経済地理学	地域資源保全論 地域と教育の歴史	地域システム論 地域社会論	地域政策論 地域文化論		
	領健康科福祉目社	地域福祉論 生涯学習概論Ⅰ	生涯学習概論Ⅱ 社会コミュニケーション論	地域と教育支援 NPO論	福祉社会論 教育と社会		
	領人域と科自然目自	気候学 地形学	生態学 環境社会学	環境マネジメント 地域防災科学	SDGsとシティズンシップ論		
実習科目		地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習	測量学実習 GIS実習	海外地域実習			
専門 関連科目		日本史概説 外国史概説	民俗学概論Ⅰ 民俗学概論Ⅱ	測量学			

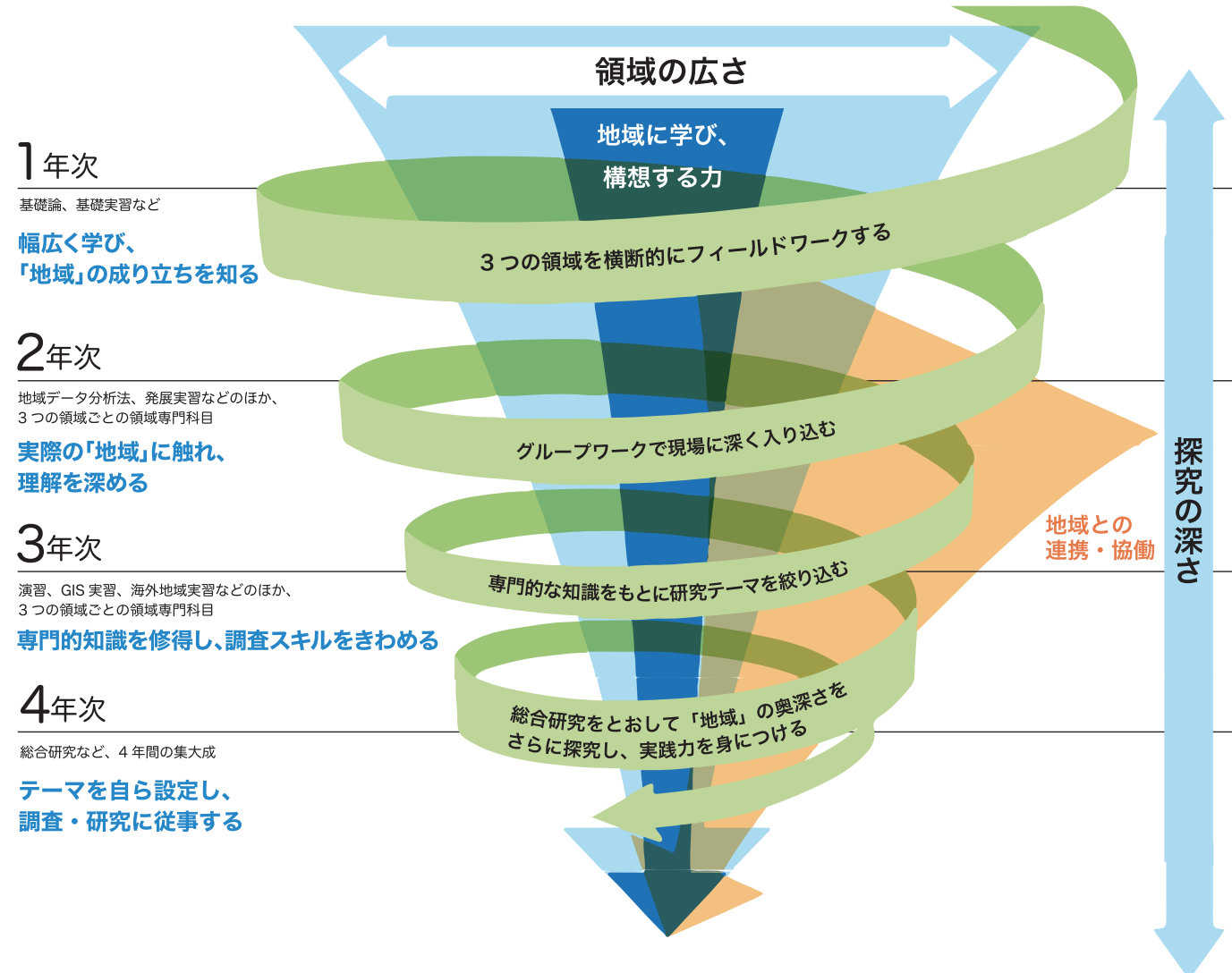
研究領域の紹介

本学科では多様な要素から成り立つ地域を深く理解すること、そして、フィールドワークを通じて現場に学び、地域住民の視点から地域の現状と課題を把握できるようになることを大切にしています。このために、多様な要素から成り立つ地域コミュニティを「社会と産業」「健康と福祉」「人と自然」という3つの視点から理解していきます。

社会と産業	沿岸のまちや農村のなりたち、商店街や地域産業の活性化、人々の社会生活の課題に目を向け、地域の特性とそこで暮らす人々の関係について学びます。
健康と福祉	住民の健康づくり、子どもから高齢者まで生涯をつうじた学びのあり方、地域福祉の課題、すべての人にやさしい街づくりなど、地域を支える健康や福祉のあり方を学びます。
人と自然	地域や地球の自然環境のなりたち、保全・保護、自然災害への備え、そして持続可能な社会の実現に向けた市民性の育成など、自然と人との関わりを学びます。



カリキュラムモデル



取得可能な免許と資格

- 中学校教諭一種免許状(社会)※
 - 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)※
 - 高等学校教諭一種免許状(公民)※
 - 社会教育主事(社会教育士)
 - 測量士補
 - 地域調査士
 - GIS学術士
- ※教職課程認定申請中

想定される卒業後の進路

- 公務員
- 教員
- 金融・保険業
- 地域コンサルタント業
- 地図作成業
- 測量業
- NPO法人 など